

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立富士中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価項目に対して重点的・具体的に取り組むことができた。</li> <li>・富士校ならではの「一貫校の形を模索し、学校運営協議会の助言等を得ながら地域と連携した学校づくりを目指す。</li> <li>・令和2年度に立ち上げた地域学校協働本部事業を既存の本校活動と擦り合わせなが、更に整備・充実を図る。</li> </ul>
2 学校教育目標	<p>地域を担う夢に向かって伸びゆく富士っ子の育成</p> <p>①一人ひとりに基礎学力を身に付けさせ、思考力・判断力を高める。</p> <p>②「ひと・もの・こと」との関わりを通して、自他の命を大切に、郷土を愛する心豊かな生徒を育てる。</p> <p>③心身ともに健やかでたくましい生徒を育てる。</p>
3 本年度の重点目標	<p>①「五感教育」の推進—わかる授業づくりと家庭学習への取り組み</p> <p>②「生徒理解」・「不登校対策」の推進—生徒を中心に据えた心の絆&amp;居場所づくり</p> <p>③3連携「小中連携・家庭連携・地域連携」の推進—コミュニティ・スクールとしての絆づくり</p> <p>④教職員の資質向上と働き方改革を受けての取組の充実</p>

4 重点取組内容・成果指標 5 最終評価

(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全職員による共通理解と共通実践</li> <li>○わかる授業づくりと家庭学習の定着・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上</li> <li>○授業が「分かりやすい」の生徒回答率が90%以上、自主学習ノートの全員提出及び月曜テストの合格率85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めあて・まとめ・振り返り」の継続した記録</li> <li>・朝読書を活用した一人年間60冊以上の読書の推進</li> <li>・基礎・基本の定着の徹底</li> <li>・分析に基づく弱点の解消推進に向けた身に付ける資質能力の焦点化</li> <li>・「家庭学習の手引き」活用の徹底</li> </ul>
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</li> <li>●いじめの早期発見、早期対応体制の充実</li> <li>◎志を高める教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校が「安心・楽しい」の生徒回答率が90%以上、ボランティア活動等の生徒会活動の活性化による参加率の前年度アップ</li> <li>○スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、サポート相談員の状況に応じた活用と連携した相談体制の充実</li> <li>○「富士町が好き」、「富士町を自慢できる」の生徒回答率100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QUを活用した受容的な学級集団作り</li> <li>・職員全員で取り組む道徳授業の推進</li> <li>・パワーアッププラン等を活用した主体的な生徒会活動の促進</li> <li>・定期的な生活アンケートを通じて的確な状況把握と即時対応</li> <li>・定期的な連絡会での情報共有と組織的な取組の推進</li> <li>・地域の教育資源、人材を積極的に活用した体験活動を通じた「五感教育」の推進</li> <li>・ゲストティーチャー招聘によりふるさと富士を大事にする生徒の育成</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーアッププランの取組で児童生徒ふると学習コンクール優秀賞を受賞し、佐賀県教育フェスタで生徒会がプレゼン発表した。</li> <li>・「学校が楽しい」と回答した生徒は90%だった。</li> <li>・定期アンケートの実施方法を自宅に持ち帰り、安心して記入できるよう環境を整えた。</li> <li>・アンケートから生徒の困り感やトラブルのいくつかを発見することができた。</li> <li>・SCとの関わりをもつ生徒が昨年度よりも増えた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便りで紹介いただき、知っている生徒には声をかけをするように心がけている。</li> <li>・「学校が楽しい」ことが一番だと思う。</li> </ul>
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「運動習慣の改善や定着化」</li> <li>●「望ましい生活習慣の形成」</li> <li>●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童生徒80%以上</li> <li>○全員部活動(含社会体育・文化部)に所属、放課後等の活動の適切な促進</li> <li>●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝、早起き、朝ごはん運動」を家庭・地域と共に推進し、高い朝食喫食率を維持</li> <li>・週2回の部活動休みの設定と健康維持管理能力の向上の促進</li> <li>・保健だより、給食だよりの定期発行による意識の啓発推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動(社会体育含む)では、平日2時間、休日3時間を上限に週5日活動し、適切な運動量で運動を習慣化することができた。</li> <li>・生徒会活動に朝食摂取啓発活動を取り入れた。給食だより、保健だよりを発行し、継続して健康の意識向上に努めることができた。</li> <li>・11月「早寝・早起き・朝ごはん」の実施状況調査を行った結果、全校生徒の94%が毎日朝食をとっており、その内69%の生徒がバランスの良い朝食をとっていた。調査結果は、ほげんだよりで各家庭に周知を図ることができた。また、全体の8割以上の生徒が自分の設定した時間までに就寝・起床でき、自己管理能力の向上が見られた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」運動に食育を入れてほしい。</li> <li>・基本的な生活習慣が、学力向上につながっていることが理解できた。</li> <li>・部活動も頑張ってもらっていてありがたい。</li> <li>・部活動、社会体育等、運動習慣をさらにのばして、生徒に充実感をもたせてほしい。</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減</li> <li>●校内研究の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</li> <li>●年一度の授業公開(全領域で選択可能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日(毎週水曜日)実施の徹底</li> <li>・時間を意識した仕事の効率化推進</li> <li>・行事、指導の各手引きの次年度を見通した活用の徹底</li> <li>・授業の流れとワークシートの共有、授業作りにおけるサポートチームの協力等、実践的で協働的な体制の構築</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員の時間外勤務時間の平均は33.9時間で、昨年度より2時間減だった。</li> <li>・部活動の休養日の週2日以上の設定は100%。</li> <li>・定時退勤日にはほぼ全員が定時退勤時間及び30分以内の実施ができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日の設定や部活動休養日等の積極的な推進で、働き方改革が前進していると思う。</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減</li> <li>●校内研究の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減</li> <li>●校内研究の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に沿って授業研究会を実施した。研究テーマである「話し合う活動」を取り入れた授業づくりに全職員が取り組んだ。</li> <li>・一人1授業公開をすることができた。</li> <li>・東部教育事務所より講師を招聘し、11月に小中合同協議会での授業研究会を実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗り入れ授業は計画通りに実施できた。小学部の英語の授業についてもT2として実施した。</li> <li>・小中それぞれの研究授業時には、空き時間を利用して互いに授業を参観しあった。</li> <li>・小中合同協議会において、互いの教職員が授業づくりや生徒のについて情報交換を行った。</li> <li>・小学部で実施しているスクール・オン・ザ・ムーブを小学部へも広げつつある。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学部から小学部への乗り入れ授業がすばらしい。</li> <li>・工夫された取組がすばらしい。</li> <li>・「スクール・オン・ザ・ムーブ」の取組はすごい。続けてほしい。</li> <li>・小規模校ならではの取組がたくさんできていると思う。</li> </ul>

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				○小中連携	○9年間の学びをつなぐ小中一貫教育の研究推進	○小中学部の全教職員による相互授業参観(年1回以上)、合同授業研究会の実施(年2回以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学部教員との協働による乗り入れ授業、交流活動、授業参観の計画的な実施</li> <li>・小中合同協議会の内容の充実、効果的な合同研修会の計画実施</li> </ul>
○コミュニティスクール	○学校運営委員会の充実	○保護者及び学校運営協議会委員の学校情報メール加入率100% ○学校HPを活用するようになったという保護者の割合85%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便り、HP、学校情報メールの活用及び学校運営協議会を核とした連携の強化</li> <li>・保護者、地域への積極的な情報発信・受信の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校情報メール加入率は100%だった。</li> <li>・定期的、継続的な情報発信を行い、保護者からの認知率97%と高い評価を得た。</li> <li>・学校運営協議会としての取組がコロナ禍のため十分にできなかった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知率が高いことはうれしい。</li> <li>・コロナ禍のため、ほとんど具体的な活動ができなかった。</li> </ul>

5 総合評価・次年度への展望	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各項目において、具体的な取り組みがしっかり計画され、評価も十分なされている。具体的な取り組みがはっきりしている。(学校運営協議会より)</li> <li>・授業に関する共通理解は浸透し、生徒からの評価も高い。今後はより個に応じたきめ細かな指導、授業づくりを通しての学力向上を図る。</li> <li>・生徒指導について、生徒の変化に気づき、細やかな対応ができてきた。今後は報告・連絡・相談をさらに密にして、早期発見・早期対応に努める。</li> <li>・コロナ禍で活動が縮小されたが、富士校ならではの「一貫校の形を模索し、学校運営協議会の助言を得ながら地域と連携した学校づくりを目指す。</li> </ul>
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------